

PHAYAOLレポート 2006-03

2006 年度 “子ども達の「未来への夢の架け橋」”

パヤオ 子ども奨学金授与式 シカーアジア財団 アルニー事務局長出席

5月15日から、2006年度前期奨学金授与式が、タイ各地域で始まりました。
そのうちシャンティ山口の支援するシャンティ寮でパヤオ奨学生の授与式がありました。

毎年前期では、シーカーアジア財団、最高責任者のアルニー事務局長が日本からの支援者の期待と気持ちを伝えるため、各地を回り直接授与すると共に、奨学生達を励ましています。パヤオをトップにこれから、スタッフと共に各地を1週間かけて回ります。

スタッフの紹介の後、子ども達からは、成績の報告や、日頃の成果を披露し、代表による日本のお父さん、お母さんへのお礼のメッセージと、各自が手紙を書きました。

今回もまた、タイミング良く訪問中のシャンティ山口事務局長も支援者を代表して、寮生に奨学金を授与し、「日本の皆さんが見守っていることと、健康に気をつけて悔いのない学生生活を送ってください。」と伝えました。

様子をご覧ください。



日本のお父さんお母さん “ほんとうにありがとう” “コクンマークラップ・コクンマーカー”





順番を待つ各村からの奨学生



寮生による受付け・アドバイス



アルニー事務局長の挨拶



ポンラチャダー学校の先生から



ククワン学校の先生から



奨学生を代表して寮生からお礼の挨拶



寮生によるモンの伝統「ケー」の舞



寮生によるモンの伝統の踊り



シブソンパタナーの生徒によるモンの踊り



夢と希望に輝くパヤオの奨学生達

夢と・希望と・不安を胸に未来に立ち向かっていく様子が、
 ひしひしと伝わってきます・・・
 この子達が、自分たちの村を・世の中を・変えてくれます・・・
 若者よ！ ちからいっぱい羽ばたけ・・・世界に羽ばたけ！！

060515